



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 パーチャレクス・ホールディングス株式会社
 コード番号 6193 URL <http://www.vx-holdings.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝

TEL 03-3578-5300

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	4,507	11.7	3		10		25	
30年3月期第3四半期	4,036	40.9	20		24		35	

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 24百万円 (%) 30年3月期第3四半期 34百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	8.79	
30年3月期第3四半期	11.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,200	960	43.2
30年3月期	2,297	983	42.8

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 960百万円 30年3月期 983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	5.3	53	12.1	50	17.1	10	26.8	3.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社(社名) VXアクト株式会社、 除外 - 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	2,941,153 株	30年3月期	2,937,953 株
期末自己株式数	株	30年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2,939,486 株	30年3月期3Q	2,937,953 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(当四半期における重要な子会社の異動)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に加え、個人消費におきましても、雇用・所得環境を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済は、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等により依然として景気の先行きには不透明感が払拭できない状況が続いています。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティング株式会社はCRMをビジネスのドメインに、株式会社タイムインターメディアはWeb、文教・教育などをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってきました。

その結果、当3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,507,335千円(前年同四半期比11.7%増加)、営業損失3,788千円(前年同四半期は営業損失20,700千円)、経常損失10,312千円(前年同四半期は経常損失24,937千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失25,847千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失35,166千円)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業では、バーチャレクス・コンサルティング株式会社でのコンサルティングサービス、CRM製品提供が新規案件を着実に獲得する等、順調に推移しました。その結果売上高は2,359,436千円(前年同四半期比7.6%増加)、セグメント利益は294,104千円(前年同四半期比15.1%増加)となりました。

アウトソーシング事業では、ストックビジネスとして着実に成長を続けております。その結果、売上高は2,147,898千円(前年同四半期比16.6%増加)、セグメント利益は362,106千円(前年同四半期比15.8%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ76,231千円減少し、2,220,981千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が169,040千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ53,115千円減少し、1,260,815千円となりました。これは主に、長期、短期含む借入金が71,107千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失25,847千円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ23,115千円減少し、960,165千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	363,922	308,101
受取手形及び売掛金	755,559	586,518
開発事業未収入金	101,098	239,995
仕掛品	9,788	63,375
前払費用	71,633	95,563
その他	93,725	48,362
流動資産合計	1,395,728	1,341,916
固定資産		
有形固定資産	88,050	97,380
無形固定資産		
ソフトウェア	230,893	169,470
ソフトウェア仮勘定	—	12,663
のれん	254,702	233,076
その他	3,820	3,820
無形固定資産合計	489,416	419,032
投資その他の資産	324,017	362,652
固定資産合計	901,484	879,065
資産合計	2,297,212	2,220,981
負債の部		
流動負債		
買掛金	196,391	133,176
短期借入金	100,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	112,034	93,708
未払金	214,255	233,957
未払法人税等	13,281	25,026
賞与引当金	122,501	89,820
その他	215,733	289,552
流動負債合計	974,198	985,240
固定負債		
長期借入金	327,925	255,144
その他	11,807	20,430
固定負債合計	339,732	275,574
負債合計	1,313,930	1,260,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	597,029	597,861
資本剰余金	300,583	301,415
利益剰余金	85,268	59,421
株主資本合計	982,882	958,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	398	1,466
その他の包括利益累計額合計	398	1,466
純資産合計	983,281	960,165
負債純資産合計	2,297,212	2,220,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	4,036,087	4,507,335
売上原価	3,179,448	3,522,945
売上総利益	856,638	984,389
販売費及び一般管理費	877,339	988,177
営業損失(△)	△20,700	△3,788
営業外収益		
受取利息及び配当金	64	14
助成金収入	3,934	—
その他	—	751
営業外収益合計	3,998	765
営業外費用		
支払利息	5,399	2,820
支払手数料	2,519	1,024
為替差損	225	315
投資事業組合運用損	—	3,129
その他	91	—
営業外費用合計	8,235	7,289
経常損失(△)	△24,937	△10,312
特別損失		
固定資産除却損	210	—
特別損失合計	210	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,147	△10,312
法人税等	10,018	15,535
四半期純損失(△)	△35,166	△25,847
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,166	△25,847

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△35,166	△25,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,147	1,067
その他の包括利益合計	1,147	1,067
四半期包括利益	△34,019	△24,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,019	△24,779
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期における重要な子会社の異動)

10月1日に株式会社タイムインターメディアから会社分割により設立したV Xアクト株式会社を新たに連結の範囲に含めております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,193,397	1,842,689	4,036,087	4,036,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,193,397	1,842,689	4,036,087	4,036,087
セグメント利益	255,541	312,749	568,290	568,290

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	568,290
全社費用(注)	△588,991
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△20,700

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,359,436	2,147,898	4,507,335	4,507,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,359,436	2,147,898	4,507,335	4,507,335
セグメント利益	294,104	362,106	656,211	656,211

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	656,211
全社費用(注)	△659,999
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△3,788

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

当社は平成31年1月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について以下のとおり決議いたしました。

- (1) 取得対象株式の種類
当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数
40,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.36%)
- (3) 株式の取得価額の総額
20,000,000円(上限)
- (4) 取得期間
平成31年1月18日～平成31年2月15日
- (5) 取得方法
東京証券取引所における市場買付け